

2年生が、医師・看護師・消防署員の方から、心肺蘇生法を学びました

小杉南中学校

H21.7.9 実施

自分の知っている人がAEDで助かったことがあったので、前からとても大切なものであることは知っていました。そして、今回体験して、とても難しいことがわかりました。人工呼吸は、すごく勢いよくしなくてはできないし、AEDも、貼る場所を間違えるといけないからです。実際に今日のことを役立てる日があれば、あわてず、落ち着いて少しでも人の命を助けたいです。今日の事を忘れないようにして、家族にも話したいです。

すごく役に立つことを学習した時間でした。今日、心肺蘇生を教えてくださいのおかげで、もし、人が倒れているのを見たり、家族が倒れてしまったりした場合、どうすればよいかわかりました。もしいつか、人が倒れているのを誰かが発見し助けていたら、自分にも何かできることはないかをさがし、助けられるようにしたいと思いました。



今回初めて人工呼吸と心臓マッサージをしました。見ていると簡単そうに見えたけど、実際にやってみると、意外に難しく思ったとおりには出来ませんでした。AEDも初めて使いました。機械がしゃべってくれたので、使い方がよくわかって助かりました。

これからは、今回の体験で役立つことがあるかもしれないので、忘れないでいたいです。

最初は簡単なことかなあと思っていたけど、やってみると難しく、緑色のランプはなかなかつきませんでした。でも何回かやると慣れてきて、ランプがつくようになったので、すごくうれしかったです。もし、普段の生活で、今日習ったことをやる時があったら、人の命を救いたいです。

最初は、恥ずかしいと思い、やるのが嫌だったけど、教えてくださいの方が、心肺蘇生法の大切さややり方を一人一人に教えてくださいだったので、「命を助ける大切なことで全然恥ずかしくない。」と感じるようになりました。

身近な人が突然倒れたら、心肺蘇生法を、あわてず落ち着いてできたらいいと思います。

最初、恥ずかしくて緊張したけど、やっているうちに「人の命ってこれだけでも助かる可能性があるのだ。」と実感できました。指導してくださった方は、とてもおもしろくて、説明もわかりやすかったです。

人を助けなければならない時、今日教わったことを生かし、1%でも役に立てたらいいと思います。

救急車が来るまでに応急手当をすると、その人を助ける可能性が、最大25%も上がることを知り驚きました。もし自分がそうしなければならなくなったら、進んでやることで、人の命が救えることもわかりました。

最初は面白半分で行っていました。でも、みんな注意し合ったら、みんなの気持ちが引きしまり、まじめに命を救いたいという姿勢がみられ、よい体験になりました。